

従業員のITリテラシーを高め、テレワークを促進する

株式会社 ビジネスサポート

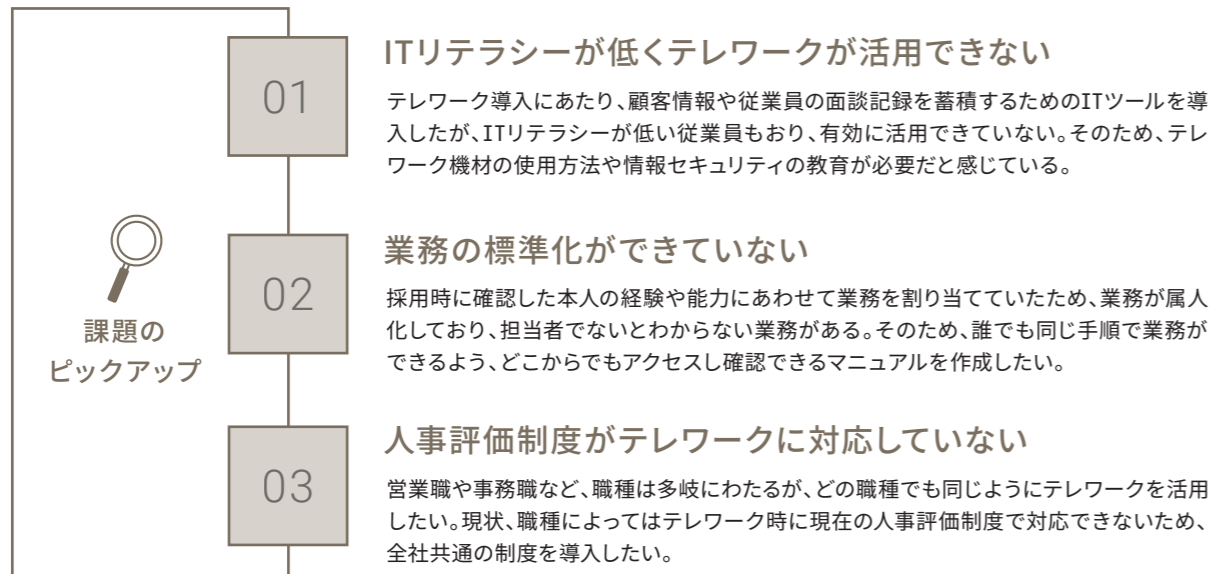
住所	〒450-0005 名古屋市東区東桜1丁目3-7ヒシタビル4F		
従業員数	550名	資本金	1500万円
業種	その他(サービス業)	創業	2006年
HP	https://bssp.co.jp		



企業ご紹介 自動車運行管理業を営む企業です。安全・安心と上質なホスピタリティをご提供することで、皆様から厚い信頼をいただき、さまざまな車両の運行管理を任せております。

抱えていた課題について

事業拡大に伴い、働く場所に制限なく勤務するためにテレワークを導入したが、属人的な業務やITリテラシー（ITに関連する理解力や対応力）が低い従業員がいるため、活用ができていない。また、テレワークに対応した人事評価制度がないことも課題を感じている。



アドバイザーはここを見る！ ～課題の解決に向けて～

組織的にテレワークを促進するためにはIT人材の育成が必要になります。社内に優秀なIT人材がいることでITリテラシーが低い従業員に対し教育を行うことが可能になります。

取り組み

01

「IT人材」の育成で組織全体のITリテラシーを高める

特定の従業員にIT経営の推進方法を学ぶ「ITコーディネータ ケース研修」を受講してもらい、ITツールなどの利活用の推進・支援ができる「IT人材」を育成した。IT人材がITリテラシーの低い従業員に対し、テレワーク機材利用の注意点や情報セキュリティ面での教育を行うことで、テレワークの促進につながった。

02

業務の標準化のためのマニュアル管理システム

属人化していた業務を見える化し、全従業員がネットワーク上で確認できる「マニュアル管理システム」の導入を行った。紙媒体でのマニュアルは静止画でしか手順を記載できずわかりづらい業務もあったが、動画で業務手順を確認できるようにしたことで、出社の有無問わず全従業員が同じ手順で業務を行うことができるようになった。

03

テレワークに対応できる評価シートと評価基準の導入

多岐に渡る職種に対応できる目標管理評価シートを導入し、勤務時間・業務内容に左右されず評価できるようになった。目標設定時は上司と部下で面談を行い、「業務を行う際、工夫していること」など詳細にヒアリングし、個々に合った目標を設定する。また、テレワークでも正當に評価するために日々の進捗状況の確認とあわせ、定期的な面談を行うこととした。今後、全社に周知し運用を試みる。

アドバイザーからのポイント

ネットワーク上でマニュアルを確認できるようにする利点は、動画で業務手順が確認できることです。これにより、テレワーク中でも動画マニュアルで業務手順を簡単に確認できます。

達成した結果

事業拡大に備えた、テレワークの環境整備。

IT人材による全社的なITリテラシーの底上げと、ネットワーク上のマニュアル整備により、テレワークを推進することができた。また、新人事評価制度を導入したことでテレワークをした際にも適切に評価できるようになった。

企業の声



経営企画室 伊藤 顕 様

もともとDXの推進なども経営企画室で担っており、多様で柔軟な働き方を推進することは組織を拡大させるためにも重要なことだと感じました。自社の成長期ということもあり、働き方も含め、従業員一丸となって成長できる環境づくりを目指します。